



成果指標				
成果指標	活動指標事業の参加者数			
指標設定の考え方	各種イベントを通して文化活動に感心が高まり、市民に適切な文化紹介が行えたか。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標25年度
目 標	11200	11200	0	0
実 績	12190	12347	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	文化協会との連携により文化祭参加者は年々増加しており、文化祭は市民が自己表現できる場を提供できている。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	2	
課題認識	文化協会及びその構成団体が中心となって文化事業が推進されているが、新しい文化施設の建設に伴う管理運営検討の中で、施設使用料について問題となっている。 現在、公民館等を使用した場合、ほとんどが使用料免除となっているが、受益者負担の原則、又、周辺市町の状況からも、応分の使用料負担は必要と考える。 文化団体の育成及び文化振興の推進は必須であるが、これと相応する施設使用料(受益者負担)の減免について検討が必要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題